

第1回 千曲市復興計画策定委員会 議事録（要旨）

日時 令和2年6月30日
午後2時00分～

会場 千曲市役所 301会議室

1. 開 会

2. 委嘱状の交付

3. 市長あいさつ

4. 策定委員、オブザーバー及び事務局の紹介

5. 正副委員長の選出について

（互選により選出）

委員長：赤沼義敏委員

副委員長：北原盛義委員

6. 会議事項

（委員会設置要綱「第7条」の規定により委員長が進行）

（1）令和元年東日本台風災害について

（事務局より説明）

（2）千曲市復興計画について

（事務局より説明）

基本的な考え方、基本的な理念、基本施策の体系、スケジュールについて

（委員会承認）

（3）部会について

（事務局より説明）

部会構成について

（委員会承認）

(4) 新型コロナウイルス感染拡大時の委員会開催方法について

(事務局より説明)

新型コロナウイルスの第2波・第3波が懸念されている。

今後大人数での会議開催が困難となった場合に、郵送や電子メールといった書面によるやり取りで会議を進めることも検討しているが、委員会です承頂けるか。

【質疑応答】

(委員長)

新型コロナウイルスの関係で大勢集まるのが難しい場合の話。

部会は大人数となるが、できれば策定委員には書面ではなく生の声を聞かせてもらえるように配慮して欲しい。

言葉で話す場合と文書で伝える場合ではイメージが変わってしまう。

部会員の人数については市復興本部員を厳選することで対応可能と考えるがどうか。

(委員)

その方法が良い。

(委員長)

それでは、書面ではなく人数厳選の上で会議を開催するという事で進めていく。

(5) その他

【質疑応答】

(委員)

計画策定のスケジュールについて、長期的なスパンとなっている。

市民に対してのアピール方法をしっかり考えないと、何を悠長なことをしているのかという誤解、混乱を与えかねない。

その点を市としてどのように考えているか教えて欲しい。

(政策推進係長)

委員のおっしゃる通り。

可能な限り市報、ホームページ等の媒体を利用して広報に努めていきたい。

決定したことだけを広報するのではなく、策定の経過についても市民の皆さんへお知らせしていきたいと考えている。

(委員)

市民アンケートについて、世帯の抽出方法として被災した世帯とそれ以外の世帯に別れているが、アンケート結果については均一になっている。

例えば設問の定住意識や避難の状況などは、実際に被災した世帯とそれ以外の世帯では回答に差が出ると思われる。

すべての回答について被災世帯とそれ以外の世帯を分ける必要はないが、差が出るものについては集計を分けた方が今後の参考になるのでは。

(政策推進係長)

現状のアンケート結果においては、委員が指摘された観点からの集計はしていなかった。

そういった分析が可能であるか、再度検証したい。

(委員長)

アンケートについては、居住区域が小学校区ごととなっているが、何の意味があるのか。

杭瀬下に居住している方、特に被災された方は屋代小学校区への通学が多い。

そういった方が除かれている資料となつてはいけない。

災害時の避難所についても子どもが通学している小学校へ避難した方が多いことから、そういったことに利用するのかもしれないが、もう一度精査して欲しい。

(委員)

復興計画は総合計画の一部をなすということだが、その総合計画の中身についても委員に共有して欲しい。

(政策推進係長)

次回の委員会で市の総合計画を配布させていただく。

総合計画の基本目標4に防災の関係がまとめてあるのでそちらをご覧くださいながら説明させていただく。

7. その他

(事務局より事務連絡)

8. 閉 会